

このサイトはAvast Business製品専用です。AVG Business製品に関する記事については、[AVG Business ヘルプを参照してください](#)。適切な場所においても探している情報が見つからない場合は、[Avast Businessサポートに連絡してさらにサポートを受けてください](#)。

現在の場所: [オンプレミス コンソール](#)>[デバイス管理](#)>[追加、削除、更新](#)>[オンプレミス コンソールへのデバイスの追加](#)

# オンプレミスコンソールへのデバイスの追加

この記事は以下に適用されます:

- Avast Business オンプレミス コンソール

Avastアカウントを設定し、会社のプロファイルを作成したら、オンプレミス コンソールにデバイスを追加して、コンソールから直接簡単に管理できるようになります。デバイスは、使用可能なインストール方法の1つを使用してエンドポイントでビジネス エージェントをセットアップするときにコンソールに追加されます。

ビジネス エージェントは、デバイスとインストールされたサービスを管理するために導入されるエンドポイント エージェントです。コンソールとの通信、サービスの導入、ステータス/設定の同期を担当します。

## ウイルス対策導入オプション

ネットワークにデバイスを追加するには、ダッシュボードまたはコンソールのデバイス ページで**インストーラーをダウンロード**ネットワーク上のデバイスにウイルス対策を展開するには、次の3つのオプションのいずれかを選択します。

- ダウンロードしたインストーラ
- 電子メールによるダウンロードリンク
- リモート展開

## インストーラーのダウンロード

1. 必要なインストーラーの種類を選択してください:

- Windows .exe (ワークステーションおよびサーバー用)
  - Windows .msi (GPO を使用した展開用)
  - macOS .dmg
2. サブスクリプション製品を選択する
  3. 次の構成オプションにアクセスするには、**[詳細設定]**をクリックします。
    - デバイスが使用するグループとポリシーを選択します
      - **必要に応じて、そのオプションのボックスをオンにして、デバイスをアクティブ化し、インストール後に使用するサブスクリプションを選択できます。**
    - デバイス上の競合ウイルス対策製品を自動的に削除するかどうかを選択します
      - **競合するウイルス対策製品を削除するオプションはデフォルトでオンになっています。ウイルス対策サービスをインストールするときは、このオプションをオンのままにしておくことをお勧めします。**
    - インストーラーのサイズを選択します (ライト vs フル)
      - **ライトを選択した場合、他のサービスはウイルス対策エージェントのインストール時にダウンロードされます。複数のデバイスに同時にウイルス対策をインストールする場合、各マシンが個別にAvastサーバーに接続して他のサービスをダウンロードするため、このオプションは推奨されません。**
  4. デバイ스에適用するポリシーで正しいプロキシサーバーが定義されていることを確認してください。
  5. 「**今すぐダウンロード**」をクリックし、インストールパッケージを保存する場所 (フラッシュドライブやネットワークドライブなど) を指定します。

## オフラインコンソールからクライアントを追加する

1. avast\_business\_agent\_setup.zip 上記のガイドラインに従って、通常どおりインストーラ ( ) をダウンロードします。
2. フォルダを解凍し、avast\_setup.bat エンドデバイスで実行します
3. インストール後にプロンプトが表示されたら、デバイスを再起動します

## ダウンロードリンクをメールで送信

オンプレミス コンソールからダウンロードリンクを送信する前に、SMTP サーバーを定義する必要があります。 [SMTP サーバーの設定](#)を参照してください。

1. 送信先ボックスに対象ユーザーのメールアドレスをカンマで区切って入力します。

2. 必要に応じて、送信されるメールの件名を変更します。
3. メールで送信するメッセージを設定するには、「カスタムメッセージを含める」をチェックし、指定されたスペースにメッセージを入力します。
4. サブスクリプション製品を選択する
5. **詳細設定**をクリックすると、次のオプションが表示されます。
6. デバイスが使用するグループとポリシーを選択します
  - **必要に応じて、そのオプションのボックスをオンにして、デバイスをアクティブ化し、インストール後に使用するサブスクリプションを選択できます。**
7. デバイス上の競合するウイルス対策製品を自動的に削除するかどうかを選択します
  - **競合するウイルス対策製品を削除するオプションはデフォルトでオンになっています。ウイルス対策サービスをインストールするときは、このオプションをオンのままにしておくことをお勧めします。**
8. インストーラーのサイズを選択します（ライト vs フル）
  - **ライトを選択した場合、他のサービスはウイルス対策エージェントのインストール時にダウンロードされます。複数のデバイスに同時にウイルス対策をインストールする場合、各マシンが個別にAvastサーバーに接続して他のサービスをダウンロードするため、このオプションは推奨されません。**
9. デバイスに適用する設定テンプレートで、正しいプロキシサーバーが定義されていることを確認してください。

## 10. **送信**をクリック

# インストーラーをリモートで展開する (リモート展開)

リモート展開オプションは、別のインストール方法を使用してネットワークに少なくとも1つのデバイスを追加した後にのみ使用できます。マスター エージェントも指定する必要があります ([「マスター エージェントの設定」](#)を参照)。したがって、ネットワークに最初に追加するデバイスをマスター エージェントとして使用するのが最適です。以下は、リモート展開プロセスの概要です。

- › **デバイス検出**
- › **認証**
- › **要件**

## 展開

展開を試みる前に、[システム要求](#)ページで推奨設定が適切に行われていることを確認します。

**重要:** ネットワーク内のデバイスがレガシー OS (Windows XP、Vista、2003、2008 SP2 など) を実行している場合、それらのデバイスを含めてリモート展開を試みると、選択したすべてのデバイスで展開が失敗します。したがって、レガシー OS がインストールされているデバイスを選択して展開を試みないようにしてください。

Active Directory に接続されていないデバイスの場合は、リモート UAC (ユーザー アカウント制御) の制限を変更する必要があります。Windows レジストリ エディターを開いてに移動し、値 "

"HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows\CurrentVersion\Policies\System を追加/編集して、1 に設定します。詳細については、[Microsoft の UAC リモート制限に関する記事](#)を参照してください。DWORDLocalAccountTokenFilterPolicy

- › ネットワークスキャン
- › ネットワーク展開

コンソールから目的のデバイスにインストーラーファイルをダウンロードしたら、ビジネスエージェントと含まれるサービスのインストールに進むことができます。に記載されている指示に従って[マネージドアンチウイルスのインストール](#)。

### このセクションの他の記事:

- [オンプレミスコンソールからデバイスを削除する](#)
- [マネージドアンチウイルスのインストール](#)
- [コマンドラインインストールパラメータ](#)
- [Jamf を使用した macOS への展開](#)
- [グループ ポリシー オブジェクトを使用して Windows に展開する](#)
- [デバイスのクローン作成](#)

### 関連記事 :

- [廃止された Windows システムに Avast エージェントをインストールする](#)
- [オンプレミス コンソールをビジネス ハブに移行する](#)
- [サブスクリプションの管理](#)

現在の場所: オンプレミス コンソール>デバイス管理>追加、削除、更新>オンプレミス コンソールへのデバイスの追加